

第 38 回土木計画学研究発表会（秋大会）：2008 年 11 月 1 日～3 日（和歌山大学）
セッション討議内容の記録

セッション名：交通政策	
日付：11 月 3 日（月）曜日、セッション時間：13：15～14：45	
司会者名（所属）：岸 邦宏（北海道大学大学院工学研究科）	
討 議 内 容	<p>セッション全体：</p> <ul style="list-style-type: none"> 論文個別の議論で終わったので、全体の議論としては特にありません。
	<p>（303）Farzana Rahman（Saitama University）：</p> <ul style="list-style-type: none"> How do you evaluate the implementation of funding and policy? The most serious problem is that the budget of local government is decreasing. How do you consider about that? As for the implementing the policy, which should have initiative, local or national government?
	<p>（304）岡本 太郎（阪神高速道路(株)）：</p> <ul style="list-style-type: none"> 現実的に交通管理会社が毎日体制を変えていくことは可能だろうか？ 「交通管理改革」の意味するところについて 巡回するという方法について、ドライバーから通報してもらうこととかは考えられないか？ 高速道路会社と交通管理会社のエージェント間の関係を表しているが、交通管理会社が2社になったときに、エージェントの関係はどうなるだろうか？交通管理会社間の関係も扱うことになるのか？
	<p>（305）阿部光太郎（日本大学大学院理工学研究科）：</p> <ul style="list-style-type: none"> 営業収入と営業費用は独立と見なして良いだろうか？ 企業にとって変えることが出来る要因(サービスレベル) 過去の営業戦略の異なるサンプルを集めてきて出てきた確率変動を、今後の企業が直面する外生的な要因に基づく確率変動だと見なしてしまっている。過去の当てはめによるばらつきと、将来の予想されるばらつきはそもそも違うものではないのか？ 研究の位置づけとして、NPV はどのような目的で使われるのか？(関連して、図 5 はどのように活用されるのか？)